

2017/6/12-6/18

# デボーションガイド 「ユースマナ」

## 詩篇 27:4

私は一つのことを主に願った。  
私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。

2017/6/12(月)

## ネヘミヤ 12:1-26

この箇所には祭司とレビ人の名前が記されています。1 歴代誌 24 章には、アロンの子らの組み分けとして、祭司たちが 24 の組みに分けられたことが記されていますが、この箇所では、祭司の家系が 22 組までしか載っていません。この時代は、礼拝に仕える祭司、レビ人の編成も神様の命令通りに再び整えていく時代でした。神様の命令には意味があり、それを守ることができるとは、とても大事なことです。私たちは自由に生きることができますが、神様が与えている秩序の中でこそ本当に自由に生きることができます。彼らは神様のことばをいい加減に扱わずに、今はまだ不完全でも、それを忠実に守ろうとしました。自分が今できることを、神様の御名によって、喜んで行おう！例え完璧にできなくても、神様が祝福してくださるので委ねていこう！

2017/6/13(火)

## ネヘミヤ 12:27-47

きみは日曜日だけ神様を喜び、賛美していないかな？？  
色々な困難があったけど、神様の守りによって城壁が完成し、それを神様の物として献げる奉献式が行われたよ。このためにユダヤ人達は、よく準備したんだ。奉献式は特別な喜びと臨在だったけど、そこに留まることなく、日常生活も神様への感謝と喜びを現していくこと、与えられた役割を忠実に果たすことが求められているよ！！(44-47)  
日曜日や特別な日だけ神様を喜んだり、感謝するのではなくて、日常生活の中にも神様の喜びを見つけ感謝しよう！！

2017/6/14(水)

## ネヘミヤ 13:1-18

祭司エルヤシブは、トビヤと親しい関係にあったので、城壁再建工事に反対してきたアモン人のトビヤが、再建後に神の宮の庭にある大きな部屋を使うようになっていた。これは「アモン人とモアブ人は決して神の集會に加わってわならない」との律法をないがしろにすることだった。  
報告のためにペルシャのアルタシャスタ王の元に戻っていたネヘミヤは、エルサレムに戻りその現状を見た時、トビヤの悪行に対して速やかに厳格に処罰を下した。  
さらに、レビ人に支給されるべきものが支給されていないことが明らかになった。エルサレムで生活できなくなったレビ人たちは、自分の農地に逃げ去っていた。ここにも改革が必要であった。  
ネヘミヤは、神の宮が掲げられていることを悲しみ怒り、速やかに対応した。  
ネヘミヤは、神の宮を愛し神様を愛していたゆえに断固として改革をした。  
どんな時も、愛してくださる主を見上げ、喜び愛することを選べますように！

2017/6/15(木)

## ネヘミヤ 13:19-31

今日の箇所ではネヘミヤ記は終わる。ネヘミヤは安息日が守られていなかったことに対して改革を試みた。そして、ネヘミヤの改革の原動力が”祈り”であったことがここでも記されている。1 つ目の改革は、安息日にもかかわらず商売をする者がいるので、門を閉めさせ見張りを立たせた。更に門の外で商売をする者には厳罰を下した。2 つ目は、外国人との結婚の問題で、これは 25 節以降にあるように厳しい行動を取った。

私たちは正しい判断をしていく必要がある。真に霊的な識別力を持ち、神に祝福された人生を歩むためにも、”祈り”行動しよう！

2017/6/16(金)

## 雅歌 1 章

神様は私達一人一人を最も美しい存在としてデザインして下さいました。そして今も神様の目には私達は最も美しい存在です。その事を受け取るという事は、この世の良い悪いではなく、神様にとって良いのか悪いのかが分かるようになります。能力や結果などで人と比べて虚しくなったり悲しくなったりする事はないかな？神様の前でそれは価値のあるものが良く考えよう！  
そして神様の愛が分かると人々に注がれている神様の愛も良く分かるようになります！  
つまり教会の交わりがより素晴らしいものになります！  
自分と周りの人達への愛を受け取りますと祈ろう！

2017/6/17(土)

## 雅歌 2 章

神様は私たちが誰のものか、どんな存在かを分かるように愛という旗を掲げてくれている。  
私たちは自分の弱さや罪を知った時、逃げたくなったり、向き合うのが怖くなることもあるね。だけど神様はそんな時でも「わが愛する者、美しいひとよ。さあ、立って、出ておいで。」と繰り返し招いてくれている。愛を注ぎ続けることで、私たちの心を開き、真の悔い改めへと導いてくれるんだ。神様の愛によって人は変わることができる。  
自分の全てを神様に明け渡そう。そして近くに変わることを恐れている友だちがいたら、君が神様の愛を流すパイプになれるよ。その人に愛を示していこう。

2017/6/18(日)

## 雅歌 3 章

私たちは友達や家族との関係ですれ違いや誤解などを感じることもあるよね。そんな時にこそ互いの関係が試されます。自分の思い通りにならないことを怒って、私たちが相手に心を開かずことをしてしまえば、互いの関係が真実なものとなることはありません。  
女は愛する人の忍耐強い呼びかけに応じて夜に立ち上がる決心をしましたが、残念ながら愛する人の姿は見えなくなっていました。ですが、女は諦めず愛する人を捜し続け、すれ違いを乗り越えていきます。そこには、周囲にどう思われるかという恐れから自由になった女の姿を見ることが出来ます。かつては劣等感に悩まされていた女が愛を得て成長したのです。私たちもイエス様の愛を通して救われた者として、神様との交わりを得て成長しているでしょうか？成長できていないのならどうしてでしょうか？神様との交わりを大切に、それを通して成長し、心を開いて周囲の人と関わっていきましょう！

